

■「具体」から「抽象」へ

▼四四頁▲

発問 「このとき」(四四・二)とは、どのようなときか。**思**

答 事物または表象のある側面・性質を抜き離して把握するとき。

発問 「捨象」(四四・二)とは、どのような行為か。**知**

答 事物または表象の具体的な情報を捨てる行為。

発問 (1)「中身の食べられる所」(四四・三)、(2)「外側の皮の部分」(四四・三)とは、それぞれ何の比喩か。**思**

答 (1)事物または表象のある側面・性質。本質。多数のものに共通する一般的な概念。
(2)事物または表象の具体的な情報。

脚問 「捨象」(四四・二)の利点は何か。**思**

答 事物の本質がわかりやすくなったり、別の多数の事物にも共通する一般的な概念が構築しやすくなったりすること。

補充 「情報を捨てる」(四四・五)を言い換えた二字の熟語を、本文中から抜き出せ。**知**

答 捨象(四四・二)

補充 「概念」(四四・六)という語についての次の解説文の空欄に入る語句を、後から選べ。**知**

例えば、私たちは柴犬もゴールデンレトリバーもチワワも「犬」と認識する。このとき認識される「犬」という(a)が「概念」である。「概念」とは様々な特徴や(b)を持つ現実の具体的な対象から、それらに(c)する特徴を取り出し、(d)にしてとらえることで成立する。このような(e)のプロセスを経て「概念」が構築される。

ア 属性

イ 抽象化

ウ カテゴリー

エ 共通

オ 一括り

答 a ウ b ア c エ
d オ e イ

補充 「いったんそれを棚に上げて考えてみよう」(四四・九)とあるが、どういうことか。八十字以内で説明せよ。**思**

答 「大部分の具体的な情報」を捨てるといっても、「きれいさっぱり忘れて」しまうのではなく、事物の本質をとらえるために、仮に、ないものとして考えてみようということ。(79字)

▼四五頁▲

発問 「非常に狭い限定された範囲」(四五・三)と対照的な語句を、同じ形式段落の本文中から抜き出せ。**思**

答 周囲の広い範囲(四五・四)

発問 「非常に狭い限定された範囲に目を向ける」(四五・三)とどうなるか。同じ形式段落の本文中から二箇所抜き出せ。**思**

答 ・「焦点」が合う(四五・三)
・周囲の広い範囲は見えなくなる(四五・四)

補充 「かなり抽象的である」(四五・六)とあるが、どういう点が「抽象的」なのか。**思**

答 「あるキャラクター」について、まだ具体的な情報が示されていない点。

脚問 「こういった事例」(四五・10)とは、どのようなことを表している事例か。**思**

答 憧れている人物の「見える」特徴を真似ること。

補充 「これら」(四五・13)は何を指すか。**思**

答 大好きなキャラクターの「見える」特徴。

発問 「大好きなキャラクター」(四五・14)の『見える』特徴を、**5**段落からすべて抜き出せ。**思**

答 「三十代の大学の先生」(四五・7)、「考え方がいかにも理系的」(四五・7)、「コーヒーが好き」(四五・9)、「話し方」(四五・9)

▼四六頁▲

発問 「このとき」(四六・6)とは、どのようなときか。**思**

答 簡単には説明できない大好きなキャラクターのどこが好きかを説明しようとしているとき。

補充 「この漠然とした人物の印象を人に伝えるとき、……とても便利だ」(四六・10)とあるが、なぜ「便利」なのか。**思**

答 小説のキャラクターには、外見や言動の叙述によつてあるイメージが造型されているため、その小説を知っている人には伝わりやすいから。

発問 「ただ、その場の『言葉』が通じるだけ」(四六・14)とは、どういうことか。**思**

答 小説の「○○先生」という名前で表されたキャラクターを各自が思い浮かべることができるだけであるということ。

発問 「ただ、その場の『言葉』が通じるだけ」(四六・14)とあるが、通じていない恐れのあるものは何か。**思**

答 伝えようとしている自分が好きな人物のイメージ。

脚問 「抽象的なものを示す機能」(四六・16)とは、どういう示し方で、どのような働きをするものか。「パール」の具体例を用いて説明せよ。**思**

答 「パールのような」の「～のような」は、パールの「ものを破壊する」という本質的な部分だけを抽出して示し、その性質を、パールに限らず他の道具にも適用していけるようにする働きをする。

▼四七頁▲

発問 「パールに相当するような機能」(四七・3)とは、この場合どのような機能か。**思**

答 手で持って物を破壊することができる機能。

補充 「抽象的な表現による伝達」(四七・11)を「パール」の例で言うとき、どういうことか。**思**

答 パールのようなもの。

発問 「有利なこと」(四七・11)とは、どのようなことか。**思**

答 他者にイメージを伝えやすく、そこに含まれる対象の数が多くなり、いろいろなものに適用できる可能性が広がること。

補充 『パール』よりも『パールのようなもの』の方が集合として大きい(四七・13)のはなぜか。**思**

答 対象の数が多くなり、いろいろなものに適用できる可能性が広がるから。

▼四八頁▲

脚問 『～のような』とつけ加えただけで、抽象化される(四八・1)のは、「言葉」がどのようなものであるからか。**思**

答 意味を限定する性質を持つ具体的なものだから。

発問 「このとき」(四八・5)とは、どのようなときか。**思**

答 言葉の意味をみんな確認し合い、限定したとき。

発問 「言葉は具体的なものになる」(四八・5)とは、どういうことか。**思**

答 言葉が、意味を限定する性質を帯びるようになるということ。

補充 「このような洗礼」(四八・8)とあるが、どのようなことか。最も適当なものを、次から選べ。

思

ア 具体的なことが認められて初めて、抽象的な表現が打ち破られていくということ。

イ 具体的なことが多く取り上げられたあとは、抽象的な概念はなくなるということ。

ウ 抽象的なことが一般に流通して初めて、具体的なことが決まっていくということ。

エ 抽象的なことが次第に定義づけられ、具体的なことが決められていくということ。

答
エ

発問

言葉が「このような洗礼を受けたうえで広まる」とは、どういうことか。思

答

対象が確認されると初めは抽象的に表現され、その存在が多数の認めるところとなると、しつかりとした定義を決めて、ある一つの言葉で表現されるという過程を経たうえで、一般に流通するということ。

発問

「堅苦しさ」(四八・10)とあるが、どのような状態のことを言っているのか。思

答

意味が限定されている状態。

発問

「子供は言葉をたくさん覚えて大人になる」(四八・11)とあるが、言葉を覚えることのメリットとデメリットをそれぞれ答えよ。思

答

メリット：対象の記憶や伝達がしやすくなる。
デメリット：本来抽象的に捉えていたイメージが言葉によって限定され、定義以外のイメージやディテールが失われる。

▼四九頁▲

発問

「そんな『言葉』」(四九・1)とは、言葉のどのような特性を指しているのか。思

答

具体的で、覚えやすいし、伝わりやすいが、言葉で表される対象の意味が限定されるので、それ以外の多くのイメージやディテールを失わせる可能性があるという特性。

発問

「『のようなもの』」(四九・1)という言い方には、どのような特性があるか。メリットとデメリットの両方を答えよ。思

答

対象について覚えにくく、伝えにくい、を受け止めた人の頭脳が、展開し、想像し、補完するため、情報を多く伝え、時間が経っても多くのイメージを残すという特性。

補充

「少数の言葉でイメージを限定しないことが重要」(四九・4)とあるが、なぜ「重要」なのか。思

答

意味を限定する言葉に頼り切るのは、どんなものにもいろいろな面があるので、多角的に物事を捉えようとする場合はよくないことだから。

脚問

「ぼんやりとしたものの見方」(四九・9)とは、どのような見方か。思

答

物事の本質の周囲にあるさまざまな情報を取り除いて見る見方。

補充

「ぼんやりとしたものの見方が必要になる」(四九・9)とあるが、なぜ「必要になる」のか。

答

「『から。』」に続く形で本文中から抜き出せ。思
そこにあるものを抽象的に捉えることができる(から。)(四九・7)

補充

「自分とその人の関係をいったん忘れて、一人の人間として見る必要がある」(四九・12)とあるが、どういうことか。思

答

その人から少し離れて客観的な見方をすれば、その人の行動の問題点が見えてくるということ。

発問

「客観視」(四九・15)や、「公平性」(四九・16)を保ったものの見方について、次の(1)・(2)にそれぞれ答えよ。

(1)どのように見ることか。直前の形式段落の具体例を用いて説明せよ。思

答

(2) (1)にはどのような効果があるか。思

答

(1)ある人の行動が問題になっている場合、自分

と問題になっている人との関係をいったん取り除き、その人物を一人の人間として見ることにしよう。

(2)問題そのものは是非や、問題になっている人の責任の有無といった本質に焦点を当てる効果。

▼五〇頁▲

発問 「結局のところ」「冷静になって考えてみると」

(五〇・三)とは、「客観的に捉えたら」(五〇・四)とどのような点で「同じ意味」(五〇・五)なのか。

思

答 本質にたどりつくという点。

発問

「抽象的にものを見ることで得られるメリットが、もう一つある」(五〇・六)とあるが、先に述べられたメリットとは何か。**思**

答 客観的に事物の本質をつかめること。

発問

「もう一つ」(五〇・六)のメリットとは何か。**思**

答 抽象化した対象の、適用できる範囲が広がり、類似したものを連想しやすくなること。

脚問

「ある知見が、まったく別のものに利用できる」(五〇・九)と考えられるのはなぜか。**思**

答 抽象化によって得られる知見には、別の分野でも適用できる一般性があるから。

補充

「全然違った分野から、使えるアイデアを引っ張ってくることも可能になる」(五〇・10)とあるが、なぜ「可能になる」のか。**思**

答 抽象化によって、適用できる範囲が広がり、対象の本質を捉えることができ、さまざまなアイデアを思い浮かべることができるから。

▼てびき▲

学習

1 事物を抽象的にとらえることの利点を本文から箇条書きにしてみよう。**思**

答

○事物の本質がわかり、別の多数のものに共通する一般的な概念を構築しやすくなる。

○抽象化された事物を受け止めた人の頭脳が、展開し、想像し、補完するため、情報を多く伝え、時間が経っても多くのイメージが残る。

○「客観視」や、「公平性」を保ったものの見方ができる。

○事物の適用範囲が広がり、類似したものを連想しやすくなることによって、アイデアや発想を豊かにできる。

2 筆者は言葉について、どのような性質を持つと述べているか。言葉の長所と短所を、それぞれ簡潔にまとめてみよう。**思**

答 長所：言葉によって意味が限定されることで、

対象を記憶・伝達しやすくなる。

短所：限られた意味以外の対象にまつわる多くの抽象的イメージが失われる。

言語活動

1 日常生活における「抽象的思考」の例を考えて発表してみよう。**知 思 主**

解答例

(例1) 自分は英語が苦手である。そこで英語の何が嫌なのか、単語を覚えていない、嫌なものだと思い込んで時間をかけていないなど、「自分」や「英語」について、あれこれ根本的なところを見直してみた。結局、英単語を覚えるときに五、六分間しかやる気が続かないことに気づいたので、部活動で教えてもらったメンタルトレーニングを取り入れて、集中力アップをはかった。

(例2) 文化祭でマイクスタンドを使ったパフォーマンスをしたかったが、学校には二本しかなかった。そこで、ちょうどいい長さの箸をマイクに見立てた。

ことばと表現

1 【例】にならって(1)～(3)の各語を用いた複数の文を作り、その文をもとにそれぞれの言葉が表すものの本質に迫ってみよう。**知**

【例】「心」

…私は心にもないことは言いたくない。

不注意を心から反省した。

心は目に見えない。

↓「心」とは本当に思っていること、形がないものの、……

答 (例) (1)小説

私は小説を読んで、主人公の生き方に感銘を受けた。
おもしろかった小説を友達にすすめたが、おもしろ
くなかったと言われた。

私は評論文より小説のほうが好きだ。

↓「小説」とは人の生き方が書いてある、感動する
かどうかは読む人による…

(2)理系

薬剤師になるには、理系に進む必要がある。／最近
は理系女子の活躍が目立つ。

私は理系科目が苦手だ。

↓「理系」とは従来男子の割合が多い、理科や数学
を勉強する、理科や数学の能力が高い…

(3)人間

人間が環境を破壊した。／人間なのだから、欲があ
ってもしかたがない。

あの人は人間ができている。

↓「人間」とは地球の生物、自分たちが地球上でい
ちばん偉いと思っている、だれもが当然とする性
質がある、内面が重要…